

令和元年 3 月 31 日

軽井沢町議会
議長 佐藤敏明 様

押金 洋仁

研 修 報 告 書

1 視察日程

令和元年 7 月 23 日 (火)

2 視察先及び目的

横浜市都筑区茅ヶ崎中央 30-17
ショコラボ (横浜工房) 一般社団法人 AOH

障がい者の就労施設・自立支援の取り組み

4. 視察内容

(1) ショコラボ (横浜工房) の視察
工房見学・店舗見学

(2) 工房設立までの経緯・課題点について意見交換
一般社団法人 AOH 代表理事 伊藤紀幸氏

5. 同行者 株式会社 島桜子事務所 代表取締役 島桜子氏
D-SHIPS32 理事長 上原大佑氏
前軽井沢町議会議員 篠原公子氏

◎考察

現在東京都で障がい者の就労支援に取り組む島桜子氏の紹介で、横浜にチョコレート工房を設立した一般社団法人 AOH を訪ねた。代表の伊藤氏のご子息には生まれつき障がいがあったのだが、それをきっかけに、障がい者の就労できる場所を作ったとのことだった。それまでごく普通の金融機関に勤めるサラリーマンであった伊藤氏が、全く別の人生を歩むことになりながら、それでも工房開設に漕ぎ着けるまで、さまざま苦労を重ねたお話はたいへん興味深いものであった。お話をうかがった後、実際に工房を見学させていただいたが、20 名ほどの障がいを持った方が、リーダーにさまざま指導を受けながら、チョコレートの作り手として生き生きと、そしてとても誇らしく働いて

いる様子はたいへん印象的であった。障がいを持つことがハンデではなく、持っているからこそできる商品作りがマーケットの中にはっきりと居場所を作る、という取り組みには見るべきものが多い。担い手と場所の問題さえ解決できれば、軽井沢でも十分展開できるモデルであろう。障がい者が隠れて施しを受けるのではなく、明るい表舞台でその存在を見せながら、さりげなく品位のあるサービス・商品を提供する、それは当町の将来の魅力づくりに資するものだと考える。